

わけもん Times

第1号 2017年2月16日

連合宮崎青年委員会 第27回定期総会

構成組織を越えた交流を ～野崎委員長体制2期目スタート～

連合宮崎青年委員会は、2016年11月26日に宮崎市・九州労働金庫宮崎県本部3階会議室において第27回定期総会を開催しました。

総会は、自治労の坂元優介さんを議長に選出した後、執行部から2016年度（第26期）経過報告、第1号議案「2017年度（第27期）活動方針(案)」、第2号議案「役員改選(案)」を提案しました。採決の結果、全ての議案が賛成多数により承認されました。総会の最後に、2期目となる野崎委員長の力強い団結がんばろうで総会を終えました。

今後、青年委員会では、承認された活動基本方針のもと、毎月開催する幹事会で具体的な取り組みについて議論し、将来の労働組合・労働運動の中心を

担う若手組合員が交流や学習のできる場をつくり、連合、構成組織、単組の組織強化につながる運動を展開していきます。



あいさつする野崎委員長



定期総会・学習会参加の皆さん

第27期活動基本方針

- (1) 青年委員会幹事会体制の充実
- (2) 各地協青年・女性委員会（女性・青年委員会）との連携強化
- (3) 労働者としてのモノの見方、考え方を身に付ける学習活動強化
- (4) 構成組織を超えた労働者の交流
- (5) 平和行動への積極的な取り組み
- (6) 青年委員会活動のアピール強化

2017年度（第27期）役員体制



委員長 野崎 唯希子（全労金）

年齢は若いですが、誰よりも肝は据わっていると自負しています。委員長となって2年目となりますが、幹事とともに各構成組織の協力のもと積極的に青年委員会の運動を進めていきます。

副委員長 青山 大（情報労連）

インドアな自分なんて想像できない。自分は根っからのアウトドア派。自分らしさを貫くためにハイエースを買いました。外に出て、各構成組織の仲間と交流します。



役職	氏名	構成組織
委員長	野崎 唯希子	全労金
副委員長	青山 大	情報労連
事務局長	水野 安紘	自治労
幹事	岩元 丈久	自動車総連
幹事	今宿 裕子	JP労組
幹事	後藤 隆紘	電力総連
幹事	谷口 宗太郎	私鉄総連
幹事	向井 伸生	森林労連
幹事	渡部 洋平	日教組
幹事	榎本 卓	JR連合
幹事	楠瀬 涼太	自治労連
幹事	畠中 裕宅	全水道
幹事	山口 和真	全国農団労
幹事	木村 友哉	JEC連合
幹事	川越 義志	全国ガス
幹事	矢田 有希	政労連
幹事	川越 紗苗	労済労連

連合宮崎青年委員会は11月26日に開催した定期総会終了後、学習会を開催しました。学習会①では平和学習として、金丸鋼造さんを講師に多くの児童が犠牲となった対馬丸事件について、学習会②では政治学習として、民進党、社民党の議員を招きグループワークを通じて労働組合と政治の関係等について学習しました。



↑講演中の金丸さん

↓自己紹介中の議員の皆さん

学習会① 平和について

宮崎市在住の金丸鋼造さん(84歳)を講師に迎え、「学童疎開船 対馬丸の遭難」と題し講演を受けました。

金丸さんは、対馬丸事件から生還し、川南町に疎開してきた児童と交流した経験を持っています。その児童が語った、弟を目の前で失ったこと、漂流する救命ボートで多くの人々が亡くなったこと、救助先での隔離生活、疎開先でのいじめなど、戦争の悲惨さを参加者に訴えました。

※対馬丸事件

1944年8月22日、米軍上陸が迫っていた沖縄から九州へ向け疎開する児童ら1,661人を乗せた対馬丸が、米軍潜水艦によりトカラ列島悪石島沖で撃沈され、1,476人が犠牲になった。

(乗船者数、犠牲者数については確定していない)

連合では、6月23日の沖縄「慰霊の日」に合わせて平和行動 in 沖縄を開催しています。連合宮崎は、平和オキナワ集会への参加のほか、対馬丸記念館やひめゆり平和祈念資料館、糸数壕等を見学し、沖縄戦や基地問題について学習しています。

学習会② 政治について

民進党から渡辺創県議、本部仁俊延岡市議、富井寿一日向市議、社民党から岩切達哉県議、松田浩一宮崎市議、水元正満国富町議の参加のもと、参加者を6つのグループに分け、議員と労働組合の関係や議員として取り組んでいることなどについて意見交換を行いました。

意見交換のなかで議員の方からは、議会活動のほか、議員報酬や政務活動費の使い方、議会が閉会している時にしていること、地域での取り組みなど普段聞く事のできないことについて話がされていました。また、参加者からは、若者の県外流出が続く中で地域活性化に向けた方策など、興味のある政策課題について質問するなど、積極的な意見交換を行っています。



各グループに分かれ意見交換

参加レポート「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を実現する1.28日出生台集会

1月28日、大分県玖珠町で行われた集会に今回、初めて参加しました。(連合宮崎から89人が参加)

1996年、「沖縄の痛みを分かち合う」との名目で、米海兵隊による県道104号線越え実弾射撃訓練が全国5か所に分散され、玖珠町の陸上自衛隊日出生台演習場でも行われる



九州各県から4,809人が参加

ことになりましたが、沖縄でも実施されていない早朝・夜間砲撃訓練が実施されるなど地域住民の平穏な生活を脅かされています。

宮崎にいると意識する機会がなかったのですが、現地には苦しんでいる人がいることがわかりました。この集会に参加して、改めて仲間のみならず学び合いながら、当事者意識を持って、平和な社会をつくるために運動に関わっていきたくて思いました。

連合宮崎青年委員会 幹事 川越 紗苗